

■大阪府知事からのコメント

世界中のスタートアップの成長を支えている Startupbootcamp が、ここ大阪において日本で初めて開催されることは、大阪産業の成長にとって、大きなチャンスであり、大変嬉しく感じています。

大阪府とベンチャーエコシステム連携協定を結ぶ阪急阪神不動産をはじめとする7社のご尽力によるものと、深く敬意を表します。

大阪府のスタートアップ数は東京都に次いで全国で2番目です。現在は、梅田を中心に、スタートアップの活動拠点施設やイベント、大学のスタートアップ教育などが盛んになっており、大阪・関西は、全国でも一二を争うスタートアップの集積都市です。また、2025年の大阪・関西万博をはじめ、うめきた2期開発など内外のスタートアップを呼び込むビッグプロジェクトも目白押しです。

こうした中、大阪府は、大阪市や堺市、経済団体などとともに、「大阪ベンチャーエコシステム推進連絡会議」を設置し、オール大阪でスタートアップの支援に取り組んでいます。また、4月には、大阪府・市で大阪産業局を発足させており、今後は、この産業局がプラットフォームとなって、スタートアップ支援を加速させていきます。

今回の「Startupbootcamp Scale Osaka」により、イノベーションによる革新的なビジネスモデルが創られ、大阪経済の活性化につながる大きな成果が生み出されることを期待しています。

大阪府知事 吉村 洋文

■大阪市長からのコメント

このたび、Startupbootcamp が日本で初めて、大阪で開催されることを大変嬉しく思っております。

大阪市では、世界中の英知が結集する「イノベーション都市」としての魅力向上をめざし、うめきたの「大阪イノベーションハブ (OIH)」を拠点に国内外のスタートアップや大学、企業、投資家などが連携したイノベーションの創出を支援してまいりました。

また、うめきた2期区域のまちづくりにおいては、「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、大阪府や関西経済連合会、大阪商工会議所等とともに「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」を設置し、世界をリードするイノベーション拠点の形成に向けた取組みを進めているところです。

大阪・関西においては、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「未来社会の実験場」をコンセプトとして、2025年日本国際博覧会が開催されることから、今後、世界中の知見、最先端技術、人材、資金の大阪への集積が加速度的に進むと思われま。

Startupbootcamp を主催する世界的なアクセラレーターである Rainmaking グループは、本年3月に経済産業省、日本貿易振興機構 (JETRO) とともに大阪で開催した地域への対日直接投資カンファレンス (Regional Business Conference) に招へいしており、このたび、日本初の拠点を大阪に設立することとなりました。本プログラムの始動により、海外の有望なスタートアップの誘致や世界中のスタートアップ・コミュニティとの結びつきが一層強まり、大阪のイノベーション都市としての魅力がさらに高まることを期待しております。

今後とも、大阪・関西におけるイノベーション創出に取り組んでまいりますので、本プログラムを通じて、ご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 松井 一郎

■ 「Startupbootcamp」について

「Startupbootcamp」とは、英国に拠点を置く Rainmaking Innovation LTD が運営する欧州最大級のアクセラレーション（事業開発促進）プログラムです。全世界のスタートアップと開催都市のパートナー企業との協業を支援することを目的とし、これまで世界 18 都市でのプログラム開催と 700 社以上のスタートアップ支援実績を有しています。

Startupbootcamp の開催都市一覧



その特長として、

- ①開催都市ごとに特定のテーマ（産業領域）を設定し、全世界から当該テーマに特化したスタートアップを募集
- ②世界の複数都市でのスカウティングイベント等を通してスタートアップを発掘
- ③開催都市の様々な関係者（投資家・各専門家など）が参画する支援ネットワークづくりなどが挙げられます。

SBC 運営本部(Rainmaking Innovation Japan 合同会社)は、半年間をかけて世界から有望企業を集め、パートナー企業と共に大阪に招致する約 20 社を決定し、最終的に 10 社程度を選抜します。

その後、3 ヶ月間をかけて、選抜したスタートアップに対するマーケティングやセールスプロモーションなどに関するレクチャーや、パートナー企業との実証実験、協業に向けたディスカッションなどを行い、最終的にデモデイ（成果発表会）を開催し、国内外の事業会社やメディア、投資家などに対してプログラムの成果を発信します。

プロジェクトの流れ

選抜期間（6ヶ月）

- ・パートナー企業によるプログラムのテーマ選定
- ・応募のためのWebページの開設
- ・複数都市での事業発表会を通じたスタートアップの発掘
- ・パートナー企業によるプログラム参加スタートアップの選抜 等

プログラム実施期間（3ヶ月）

- ・選抜されたスタートアップに対する日本市場での事業拡大のためのマーケティングやセールスプロモーション等に関するレクチャー
- ・選抜されたスタートアップとパートナー企業との実証実験、協業に向けたディスカッション等
- ・デモデイ（成果発表会）の開催

予備期間（3ヶ月）

- ・パートナー企業との実証実験、協業に向けた追加の協議
- ・本年度プログラムのフィードバック及び次年度のプログラムに向けた協議